

【科目名】 認知症		【担当教員】 伊林 克彦							
【授業区分】 専門基礎分野		【授業コード】 2-14-0440-0-2		(メールアドレス) ibayashi@nur05.onmicrosoft.com					
【開講時期】 2・3年次前期		【選択必修】 選択							
【単位数】 1単位		【コマ数】 8コマ		伊林 (火～金 午後)					
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) この科目は1年次の脳の働きや病態についての知識が必要とされます。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 変性疾患や脳血管障害の知識が必須ですのでよく予習を行ってください。									
【講義概要】 (目的) 認知症になる原因や、どのようなタイプの認知症があるのかを学び、さらに中核症状と周辺症状についても把握する。また、認知症者の心の問題や対応方法を学び、認知症に対する理解を深める。 (方法) 座学が中心であるが、時に映像による認知症の理解や、認知症者とその家族との関係などについても話し合う機会を設ける。									
【一般教育目標(GIO)】 高齢化社会に伴い増加し続ける認知症患者のために医療人として何ができるかを知り、当該疾患の病態をできるだけ詳しく把握する。 【行動目標(SBO)】 認知症のタイプや症状について説明できる。 認知症の中核症状と周辺症状の違いについて説明できる。 認知症者に対するトレーニング法について実践できる。									
【教科書・リザーブドブック】 伊林克彦 著・「認知症を知る」考古堂書店、2011年 ¥1,500									
【参考書】 藤田郁代 他著・「高次脳機能障害学」医学書院、2009年 ¥4,725									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は、本学学則規程の GPA 制度に従う。 評価は、講義終了後の筆記試験にて行う。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		80		20					100点
評	取り込む力・知識								

平成 26～28 年度入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法		学修課題(予習・復習)		時間(分)			
1	認知症とは	講義							
2	認知症になる原因は	講義							
3	どのようなタイプの認知症があるのか	講義							
4	認知症者の心の内側は	講義							
5	認知症をどのような方法でとらえるのか	講義							
6	認知症者の脳の画像は	講義							
7	認知症者の中核症状と周辺症状とは	講義							
8	認知症の治療法	講義							

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。